

学 び 舎 (まなびや)

～清和台南小学校 学校通信 第6号～

平成29年11月14日

学び、感じ、平和について考える

修学旅行

今年の修学旅行は、11月1日・2日に実施され、広島・宮島方面に1泊2日で出かけました。今年度は2学期中盤の11月に実施されたこともあって、朝少し肌寒い午前7時過ぎにバスで出発し、新大阪駅から新幹線で一路広島駅へ。



平和集会

広島平和記念公園内には各地の小中学生や外国人観光客の姿が多くみられ、昨年のオバマ前大統領の訪問を契機に広がった関心の大きさを強く感じました。原爆の子の像の前で平和祈念館で被爆された方の講話、

そして平和祈念資料館見学、碑巡りと3時間半に及ぶ平和学習に取り組みました。

2日目は宮島での厳島神社・宮島水族館見学でした。昼食のお好み焼きを食べた後、楽しいお買い物。あっという間に時間は経ちました。

今回、特に印象に残ったことの一つは、1日目のホテルでの「一日の振り返り」です。見学後すぐその日に考えたことや感じたことを班単位で交流するこの取り組みで、6年生が真剣に学びに取り組む姿に圧倒されました。

もう一つが「人への思いやり」です。今回の修学旅行では移動が多く、また交通機関内でも混んでいることが多く、子どもたちに負担をかけていました。しかし、そんなときでも、子どもたち同士お互いに声をかけあって、席を譲り合ったり荷物を融通しあったり、また乗り合わせている他の乗客の方々にも思いやりのある言動が見られました。



厳島神社

難しい状況にあるときにこそ、その人の本質が見られると思います。今回、目にすることができた思いやりを誇りに思って、これからも大切にしていきたいです。そういった思いやりこそが平和学習の原点である、そんなことを感じた修学旅行でした。



協力して、充実した学校生活に ～学年の振り返し～

11月も半ばとなりました。運動会が終わってからの10月、そして作品展前の11月は、一年間の振り返し点として、学校生活の中で最も大切な時期です。この時期にどのような学校生活を送るのかによって、その学年での自分の成果と課題は大きく変わっていきます。



4年 連合音楽会

毎日のみなさんの生活を見ていると、大きく成長したと感ずることが多くあります。例えば、朝会や委員会などにみられる児童会活動では、それぞれの学年や学級でのリーダーとして意欲的に活動している人が多く見られます。また、授業でも難しい課題に対しねばり強く取り組んだり、新しい課題に積極的に取り組もうとしたりする姿が見られるようになってきました。

一方で、まだ解決できていない課題もあります。一つは安全に関することです。登下校時にむやみに走ったりふざけていたり、休み時間に廊下を走ったり遊具でのルールを守っていなかったりする場面を見かけます。安全とは「生命」を守るための大切な意識です。

もう一つは、友だち同士のトラブルです。集団で生活している以上、自分の意見や思いが通らないこともあるでしょう。しかし、その時にカッとなって、他人を傷つける言葉を言ったり行動したりするのは大きな間違いです。他人を傷つけてしまう言動は、してしまってからではなく、する前によく考えて止めてほしいと思います。

二つの課題は、みなさんが安心して安全に学校生活を送るために、協力して取り組んでいかなければならない課題です。今の自分の生活や学級・学年での様子をしっかりと振り返り、残りの2学期を充実したものにしていきましょう。

30回目の節目を迎えた今年の文化祭は、11月4日（土）と5日（日）の二日間、清和台南小学校を舞台として開催されました。今年からPTA祭も共催し、例年以上に華やかな文化祭となりました。

1日目の開会式では、大塩市長からの祝辞の後、清和台中学校吹奏楽部の演奏や清和台幼稚園の園児による歌とダンスが発表されました。本校PTAが出店しているテントも的当てやジュース・たこせん販売など、子どもたちが喜ぶ企画で賑わい、昼食時のじゃんけん大会もたくさん子どもたちが参加していました。2日目の昼食休憩時には30周年記念として、グラウンドで「猪名川源流太鼓」の勇壮な演奏もありました。



体育館ステージでは両日とも、本校児童参加のジャズダンスや放課後子ども教室の「日舞」、本校有志児童によるダンスも発表されました。フロアでは日頃の文化活動の作品の展示と同時に、折り紙を楽しむ会や将棋クラブの参加もあり、さまざまな世代が参加するこの文化祭の伝統の重みを感じました。

文化祭
清和台地区